

**令和6年度(2024年度) 希望の郷拠点事業計画**  
**<老人デイサービスセンター希望の郷>**

**1. 事業方針**

- ・一人ひとりを個人として尊重します。
- ・長年住み慣れた地域での生活の歴史を大切にします。
- ・利用者の個性とニーズに応える個別処遇を行います。
- ・充実感と満足感をえられるような支援を行います。
- ・医療機関や町村及び関係機関との緊密な連携体制を保ちます。
- ・利用者、家族との信頼関係を築きます。
- ・職員の介護力の強化、向上に努めます。
- ・ケアプランに沿った通所介護計画や個別機能訓練計画、運動機能向上サービス計画を立て実施し、利用者様の自立に向けた生活機能の維持向上に努めます。

**2. 事業目標**

**(1) サービスの充実**

ご利用者の満足度向上を図り、自分らしく生き生きと自立した生活をお送りできるよう支援致します。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	目標利用者数 (定員 20 名)	6,160 名×73%	4,496 名

**(2) 地域社会との関係性強化**

ボランティアの受入や地域行事の参加等を行い、地域課題や地域ニーズを掘み解決に向けた取組や情報の提供・発信を行っていきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	ボランティア受入数	—	24 名

### (3) 生産性の向上

マネジメント機能の発揮、現場力の向上、ICTの効果的な活用等に取り組み、加算取得、稼働率向上に繋げ、付加価値(独自性・差別化)を生み出していきます。

KGI (重要最終目標指標)	指標名	算出式	指標値
	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率(73%)	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	1.72
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	3,342

\*総所定労働時間＝所定労働日数×8H×総職員数(常勤換算数)

## 3. 事業計画

### サービス計画

#### (1) 利用者(入所者)計画

- ・利用率・稼働率計画(令和6年度末)

定員数	計画数	利用率・稼働率(KPI)
6,160名	4,496名	73%

\*1日定員数20名、開所予定日数308日

- ・利用者構成計画(令和6年度末)

介護度・クラス別等	計画数	構成割合
健幸サロン	5名	10%
事業対象者	1名	2%
要支援1	4名	8%
要支援2	6名	12%
要介護1	19名	38%
要介護2	10名	20%
要介護3	4名	8%
要介護4	0名	0%
要介護5	1名	2%
計	50名	100%

## (2) サービス実施計画

### ・介護保険関係サービス

自立支援介護理論に沿った基本ケア(水分・食事・排便・運動)を充実させていきます。ご本人、ご家族、看護師、介護職、ケアマネ等と連携しながら、それぞれの専門的立場から状態の確認と取組に対する課題・問題点を明確化していきます。また、ご利用者本位の介護倫理を踏みにじるような行為(エイジズム)は完全に排除していく取組を行っていきます。

#### 〈基本ケア〉

実施項目	水分管理
目的・実施内容	利用者様の最適水分摂取量を管理し目標水分摂取量を設定する。心身の状態維持改善に繋げる。
個別支援計画	利用者様の状態に応じて目標水分摂取量を設定する。
KPI	目標摂取量の達成 (100%)
関連加算	—

実施項目	運動管理
目的・実施内容	利用者様毎の最適な運動方法を管理し評価・改善を行う。可動域等運動機能の維持向上に繋げる。
個別支援計画	利用者様の状態に応じた目標運動量や支援方法等を設定し、評価・改善を行う。
KPI	目標運動量の達成 (100%)
関連加算	個別機能訓練加算(Ⅰ)イ・運動機能向上加算・ADL維持加算(Ⅰ)(Ⅱ)

実施項目	排泄管理
目的・実施内容	利用者様毎の排泄リズムを把握し、パットや紙パンツではなくトイレでの排泄を誘導し、快適で健康な生活に繋げる。
個別支援計画	利用者様の状態に応じた排泄の声掛けや介助を行う。個別介護計画の作成、この計画に基づき評価・改善を行う。
KPI	—
関連加算	—

実施項目	体調維持・改善管理
目的・実施内容	利用者様毎の健康状態をデータ管理し、体調の維持・改善に繋げる。
個別支援計画	来所時のバイタルチェック、体重測定、ご本人やご家族からの聞き取りやデータをもとに、体調変化への早期対応を図る。
KPI	状態維持・改善率（90%）、入院者数（4%）
関連加算	ADL 維持加算（Ⅰ）（Ⅱ）

実施項目	入浴管理
目的・実施内容	利用者様の健康促進を図るため入浴管理を実施する。
個別支援計画	利用者様の状態に応じた支援方法を実施する。個別介護計画の作成、実践を行う。
KPI	入浴率（100%）
関連加算	入浴介助加算（Ⅰ）（Ⅱ）

実施項目	口腔衛生管理
目的・実施内容	利用者様の口腔状態を把握し口腔ケア等を実施する。摂食状態の維持改善、感染症や誤嚥性肺炎の予防に繋げる。
個別支援計画	利用者様の口腔状態や身体状況に応じた支援方法を設定する。必要に応じてご家族にも相談、助言を行う。
KPI	—
関連加算	口腔栄養スクリーニング加算（Ⅰ）、口腔機能向上加算（Ⅱ）

実施項目	認知度管理
目的・実施内容	認知症状のある利用者様に対して、ご家族の状況、利用者様の特質等を考慮し、可能な限り在宅生活を維持できるように個別ケアを実施する。
個別支援計画	ケアプランによる介護計画において利用者様の状態に応じた目標を設定、実践を行う。認知機能の維持や認知症の進行を抑える。
KPI	—
関連加算	—

実施項目	栄養管理
目的・実施内容	利用者様毎の摂食状況や毎月の体重測定から栄養状態をデータ管理すると共に、健康の維持・促進、栄養状態の改善に繋げ、生活の質の向上を図る。
個別支援計画	利用者様の状態に応じた栄養目標を設定する。
KPI	—
関連加算	—

以上の KPI 達成を図るため個別支援計画にかかる業務計画を作成する。職員の業務分担(役割分担)を明確化し業務のスケジュール化を行う。

各専門委員会	開催月
自立支援介護にかかる委員会	6月、9月、12月、3月
感染症対策委員会	4月、7月、10月、1月
認知症委員会	5月、11月
身体拘束・虐待防止委員会	6月、12月

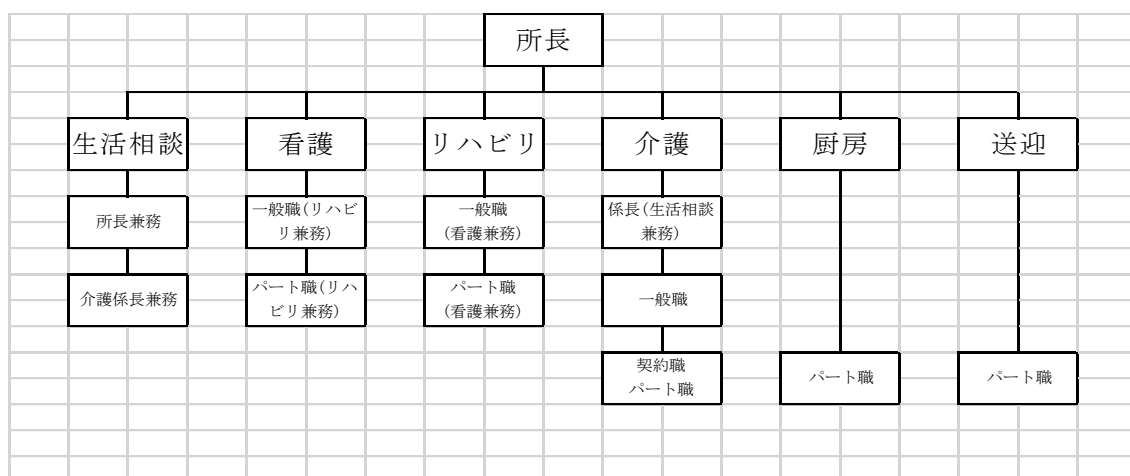
・介護保険外サービス

< 健幸サロン事業 >

実施内容（具体的内容）	KPI
介護認定を受けていない方を対象に、定期的に利用いただく地域の方の憩いの場所を提供する。また、利用回数が決まっている介護予防・日常生活支援総合支援の方の追加利用で、在宅の生活が維持できるよう運動機能向上に向けた運動等のサービス提供を行う。	利用者数 5名を維持

### (3) 組織及び人員体制計画

#### ・組織体制計画



#### ・人員体制計画（令和6年度末）

(単位：人)

役職名	令和5年度実績		令和6年度計画	
	正職	非正職	正職	非正職
所長	1 (0.5)		1 (0.5)	
生活相談員	(1.0)		(1.0)	
看護師	1 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.5)	1 (0.4)
機能訓練指導員	(0.5)	(0.2)	(0.5)	1 (0.4)
介護員	2 (1.5)	6 (3.5)	1 (0.5)	6 (3.7)
厨房職員		4 (1.4)		4 (1.4)
運転手		1 (0.1)		1 (0.1)
計	4 (4.0)	12 (5.4)	3 (3.0)	13 (6.0)

\*カッコ内常勤換算数

- ・管理者（所長）、生活相談員、看護師、機能訓練指導員は兼務。

## 人材育成計画（研修計画）

### （１）事業所内計画

接遇・マナー研修	対象職員	全職員	予定人員	8名
利用者の尊厳を守り信頼関係の構築を図る。サービス提供者としてのスキルを磨き実践する。				
避難訓練・消火訓練	対象職員	全職員	予定人員	8名
年2回実施。火災時等安全に避難できるように訓練を行う。（消火器の設置場所、消火方法の確認含む）				
認知症研修	対象職員	全職員	予定人員	8名
認知症の利用者様に適切なケアが行えるよう認知症に関する知識、認知症の方への対応について研修を行う。				
感染対策研修	対象職員	全職員	予定人員	8名
感染症・衛生管理の知識と心構えを学び、予防の重要性を再確認する。				
送迎について	対象職員	送迎職員	予定人員	7名
安全、快適に送迎が行えるよう送迎マニュアルの再確認を行う。				
救急講習会	対象職員	全職員	予定人員	8名
心肺蘇生法について学び、迅速に救急処置が行えるよう知識・技術を身につける。				
リスクマネジメント	対象職員	全職員	予定人員	8名
介護現場で生じる可能性がある事故を想定し、その対応方法を学び予防の重要性について再確認する。				
身体拘束・虐待防止研修	対象職員	全職員	予定人員	8名
マニュアルに沿って、身体拘束・虐待の防止と、発見時の対応について再確認を行う。倫理観の学びなおしを行う。				
サービス検討会	対象職員	全職員	予定人員	5名
年2回のアンケートを実施。分析を行いサービスの質の向上に繋げる。				
不審者対応について	対象職員	全職員	予定人員	8名
不審者の対応方法について学び、マニュアルの再確認を行う。				

### （２）事業所外研修（外部派遣研修）

中国老協研修	対象職位	管理監督職、一般職	予定人員	2名
中国地区高齢者施設における取組や実践事例を学び施設内で共有する。				
認知症基礎研修	対象職位	無資格者	予定人員	1名
認知症介護について、基本的な知識・技術、実践する際の考え方を身に付ける。				
口腔ケア研修	対象職位	係長	予定人員	1名
口腔ケアに関する基礎知識や技術を学び、疾患予防・状態悪化防止に取り組む。				

OJT 推進研修	対象職位	管理職、係長	予定人員	2名
意欲をもって自律的に仕事をしていく職業人を育てる職場づくりについて学ぶ。				
指導的職員研修Ⅰ	対象職位	係長	予定人員	1名
「問題解決能力」を磨き、平穏な職場と利用者様が安心できる環境作りについて学ぶ。				
指導的職員研修Ⅱ	対象職位	係長	予定人員	1名
事務の標準化（手順書作り）を進めサービスの質を支える土台作りについて学ぶ。				
人権・権利擁護研修	対象職位	係長、一般職	予定人員	2名
福祉職員として身に付けるべき高い人権意識の醸成を図り、倫理を養う。				

### 地域との関係強化計画

実施事項	ボランティアの受入れと地域交流
実施内容	地域住民及び学生ボランティア、職場体験の受入れや保育所との交流等も積極的に実施する。医療福祉政策課と連携し公民館等で地域の方とレクリエーションや運動をする機会を設ける。邑南町の出前サロン等を依頼する。
KPI	—

### 生産性向上計画

#### (1) 計画稼働率

令和6年度			
定員数	6,160名	稼働率	73%

#### (2) 新規加算取得計画

現有加算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助加算(Ⅰ)</li> <li>・個別機能訓練加算(Ⅰ)イ</li> <li>・運動機能向上加算</li> <li>・サービス提供体制強化加算(Ⅰ)</li> <li>・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)</li> <li>・介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)</li> <li>・科学的介護推進体制加算</li> </ul>
計画取得加算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助加算(Ⅱ)</li> <li>・ADL維持加算(Ⅰ)(Ⅱ)</li> <li>・口腔栄養スクリーニング加算(Ⅰ)</li> <li>・口腔機能向上加算(Ⅱ)</li> </ul>



### (3) 業務改善計画

改善事項	期待成果
業務の明確化と役割分担の強化。年間を通じて業務プロセスの問題点を顕在化させ整理する。	職員と共有しムリムダの排除、成果の見える化(評価)、意欲向上に繋げる。

### 施設等整備計画

整備分類	樹木等剪定作業
実施目的・内容	敷地内の美化整備
実施時期	4月
整備分類	器具備品
実施目的・内容	古いOSのためパソコン1台更新する。
実施時期	5月

### 積立計画

積立額
0

### 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCPの基づくシミュレーションや訓練を実施します。

### 特記事項

特になし。

以上